

令和二年度 二学期始業式 八月十九日

短い夏休みでしたが、一学期の疲れを取り、リフレッシュすることができたでしょうか。そして、二学期の目標を明確にすることができたでしょうか。只今は、各学年の代表者の皆さんから、それぞれ二学期の決意を発表してもらいました。各学年の段階に即した目標で、全校の皆さんも参考にしていただきたいと思います。ありがとうございます。

さて、本日から二学期が始まりますが、現在も新型コロナウイルス感染症の拡大は収まっています。二学期も通常の学校生活や予定している行事等が実施できるか不安の中ですが、それぞれの目標達成に向けて、「新しい生活様式」のもと、より効果的な方法を見つけ出しながら取り組んでいくほかありません。

各学年においては、先程の代表者の発表にもありましたように三年生は進路決定、二年生は部活動や生徒会をはじめとする三中のリーダーとしての引継ぎ、一年生は中学校生活の定着と新入生を迎える準備の時期となります。

このような各学年、あるいは個々の目標を達成し、学校生活をより充実させていくために、この二学期、皆さんに心掛けてほしいことがあります。すでに当たり前になっていている人もいると思いますが、それは、「ひとりになる」空間をつくるということです。

皆さんは、学校生活の中で、

- ・ひとりになって朝読書ができていますか。
  - ・ひとりになって自主学習ができますか。
  - ・ひとりでも挨拶ができますか。
  - ・ひとりでも休み時間を過ごすことができますか。
  - ・ひとりでもトイレに行けますか。
- 他にも「ひとりで○○できますか」と問い掛けてみてください。

あるラジオ番組を聴いていたところ、今、社会で成功している人は、「ひとりになっても、自分で判断し、行動できる人」というお話がありました。これは、本校の学校教育目標である「自分で考え、判断し、行動する」という『自主性を養う』ことと一致するわけですが、ポイントは「ひとりになっても」というところだと思います。

とかく学校生活では、「みんな仲良く、協力して」といったイメージが強く、「ひとりなる」というこ

とに違和感をもつ人もいるかもしれませんが。しかし、ひとりになる経験（感覚）があるからこそ、いつ、誰にどんな声をかければよいのか、どこで、どんな協力をすればよいのかを適切に判断し、本当に必要な協力や支え合いが生まれるのではないでしようか。さらに三年生が直面する進路実現にあたっては、いくら受検はチームワークといえども、最終的には自分ひとりの力で乗り越えるしかありません。

また、今、コロナ対策で「ソーシャルスタンス」の徹底が求められています。この他者との距離の取り方も、「ひとりになる」感覚と随分似通っているように思います。皆さんは、このソーシャルディスタンスを場面に応じてきちんと確保できていますか。お互いの距離を適切に取れるということは、自主性を養う「自立」に繋がっているように思います。

今こそ「ひとりになる」あるいは「離れる」ことで、プラスに働いてくることがあるのではないでしようか。

二学期、「ひとりになる」ことを意識し、各学年、そして、それぞれの目標が達成できることを期待します。良い二学期にしましょう。